



平成30年11月6日

各位

会社名 中央化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 近藤 康正
 (コード番号 7895)
 問合せ先 経営戦略室 室長代行 松島 洋輔
 氏名
 電話 048-540-1215

業績予想の修正ならびに営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月10日に公表した平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正するとともに、営業外費用（為替差損）を計上いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成31年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	28,000	0	0	600	円 銭 29.78
今回修正 (B)	26,492	162	△ 83	897	44.55
増減額 (B - A)	△ 1,508	162	△ 83	297	
増減率	△ 5.4%	—	—	49.5%	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期第2四半期)	29,213	△ 956	△ 927	△ 1,810	△ 89.85

(2) 平成31年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	24,000	△ 200	300	14.89
今回修正 (B)	23,158	62	1,026	50.95
増減額 (B - A)	△ 842	262	726	
増減率	△ 3.5%	—	242.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期第2四半期)	25,485	△1,043	△ 1,878	△ 93.24

2. 修正の理由

1) 連結業績

当第2四半期連結累計期間の業績について、中国元安により在外連結子会社の売上高円換算額が減少したこと等を受け、売上高は予想よりも1,508百万円下回りましたが、価格改定、不採算取引の見直し、社内経費の削減等により営業利益は予想よりも162百万円上回る見込みです。また、経常利益は為替相場の変動に伴い為替差損が165百万円発生したことで83百万円下回りましたが、親会社株主に帰属する純利益については見込んでいた構造改革費用の発生の時期がずれた影響もあり、297百万円上回る見込みです。

なお、現時点で通期の連結業績予想の修正はいたしません。

2) 個別業績

当第2四半期個別累計期間の業績について、売上高は不採算取引の見直し等により予想を若干下回りましたが、経常利益は在外子会社の売却に伴う海外投資損失引当金戻入益124百万円により予想を上回り、四半期純利益については構造改革費用の発生の時期がずれた影響等もあり、726百万円上回る見込みです。

なお、現時点で通期の個別業績予想の修正はいたしません。

3. 営業外費用（為替差損）の計上

1) 営業外費用（為替差損）の内容

為替相場の変動により、当第2四半期連結累計期間において、為替差損165百万円を営業外費用に計上いたしました。

2) 業績に与える影響

業績への影響につきましては、上記の通りとなります。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって上記の予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上